

2024 年度

ニチキッズ東光台保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 20 日（月）～1 月 30 日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月14日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念に基づき、理解を更に深めながら保育の充実に努めた。また、STEAM 教育について豊かな実践となるように取り組んだ。
子どもの発達援助	一人ひとりの姿や発達を把握し、個々に対しては細やかな援助をしながら自分で出来た達成感を感じながら、次への意欲や活力を自信に繋がられた。今後、より子供の発達、実情に沿った保育をしていきたい。
保護者に対する支援	連絡帳や送迎時に子どもの成長を伝えたり、日々の保育がわかるような写真や HP の配信を通して保護者とのコミュニケーションを図った。また、保護者の要望や悩みに耳を傾け、共に子育てしていこうとする姿勢を大切にしてきた。
保育を支える組織的基盤	内部研修の充実や定期的な職員面談、職員会議を実施し、保育の質の向上を図った。子ども主体の保育を念頭に置きながら、子どもたちの成長をチームで支え合えるような組織作りを目指して取り組んでいる。

総評
「子ども主体性」を意識し、一人ひとりの子どもに寄り添う保育活動を進めてきた。概ね当初計画通りに進められた。以上児クラスは、自分たちで話し合い決定していく中で「できる」「やってみよう」という力が少しずつ身につけられた。未満児クラスは職員が協力し活動を実施することができた。全体を通して職員間の連携がうまく機能したことで、感染症の拡大もなく、計画通りの保育活動を進めることができた。また、「開かれた園作り」を目指し、食育活動では、祖父母の方や地域の方のご協力で園内の畑で野菜作り体験をし収穫から食育へと繋がられた。次年度も保護者と協力し合いより開かれた保育園作りを行っていきたい。